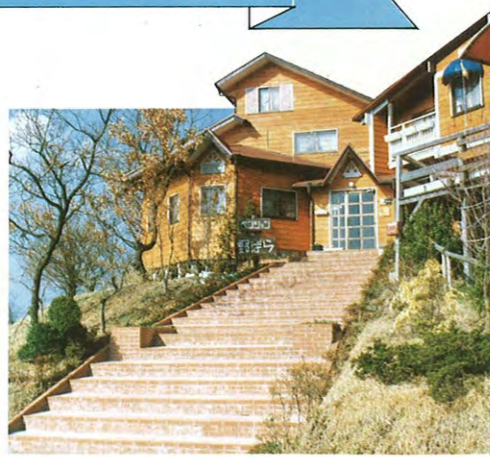


南阿蘇鉄道開通



ウボイ姿で並走を披露するなど沿線はお祝いのムード一色に包まれました。四季おり／＼の色あいを見せてくれる南阿蘇、近年、ここを訪れる観光客も増えています。欧風情諸豊かなペンション村、西日本一の規模を誇るスケート場、全国名水百選のひとつ白川水源、自然の中の宿泊施設南阿蘇国民休暇村、そして野草園。更に今年七月には大規模年金保養基地も完成します。レールバスの開通は、あたたかな人情と多くの残された自然とともに、南郷の新しい春を呼ぶことでしょう。



午前九時から始まった高森駅での発車式には、関係者など五百人が参加。飾りつけをした式典列車がホームに入ると、色とりどりの風船が一齐に放たれ、続いてテープカットなどのセレモニーが行われ、その後、三輛連結の列車は、抜けるような青空のもとを一路立野駅へと向いました。途中の各駅では、列車の通過に合わせて歓迎式。保育園児などが小旗を振り、また、地元乗馬クラブがカ

夢を乗せ、ふれあい乗せて、出発進行!

白地にブルーとオレンジのストライプ、「レールバス」が走る。南阿蘇の雄大なパノラマの中、夢と希望を乗せて――。国鉄高森線を引き継いだ、第三セクター「南阿蘇鉄道」が、四月一日、営業を開始しました。地域住民の、存続への強い願いが、この日の運行となって実現したわけですね。

その後、三輛連結の列車は、抜けるような青空のもとを一路立野駅へと向いました。途中の各駅では、列車の通過に合わせて歓迎式。保育園児などが小旗を振り、また、地元乗馬クラブがカ



欧風のユニークな駅舎



「しらかわ」「りんどう」はなしのぶの愛称がつけられた三輛のレールバス。南阿蘇のマザーライン白川の「白」をベースにして、「ブルー」で白川の流れを現わし、火の国阿蘇のイメージを「オレンジ」の帯でデザインしたスマートな車輿です。(定員/座席53人、立席62人、乗降方式/後乗り、前降り、ワンマン方式)



白川水源